

こよみ



2009年6月30日

コールセンターからの小さなよみもの



Vol.06

景気回復
期待

明るい兆しが見えてきて、 ファンドにお金がかえってきた!?



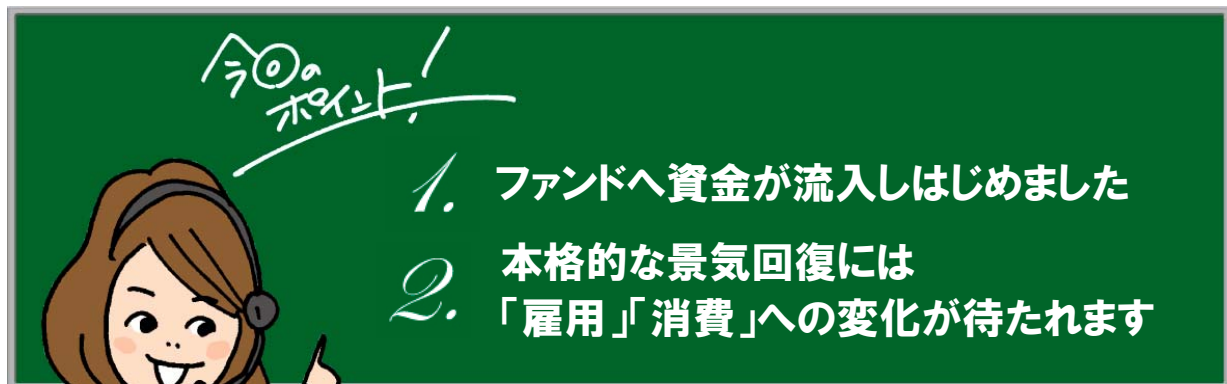
暗い話題が続いていたなかで、最近の株式市場の値上がりなどは、明るい兆しのように感じられます。日興AMコールセンターでも、お客さまから「景気はもう底を打ったのかしら?」「ファンドを購入する人が増えているのでは?」などのご質問、ご意見が増えています。

そこで今回は、「景気の底入れ」を考えるうえで、次の2点を押さえていただきたいと思います。

1. ファンドへ資金が流入しはじめました
2. 本格的な景気回復には「雇用」「消費」への変化が待たれます



コールセンターからの小さなよみもの

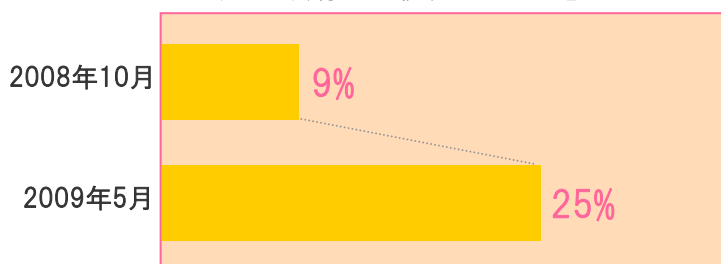


1. ファンドへ資金が流入しはじめました

下記のグラフ1は、コールセンターにお問い合わせいただいたお客さまのなかで「ファンドの購入を検討している」、もしくは「今保有しているファンドを追加で購入しようと思っている」とご回答いただいた方の割合を示しています。昨年の米証券会社の破綻後は、お客さまのお問い合わせに「不安感」を強く感じましたが、最近は「この先を見据えて」というような前向きなお話が増えてきた印象を受けています。

グラフ1

「ファンドの(追加)購入を検討している」お客さまの割合

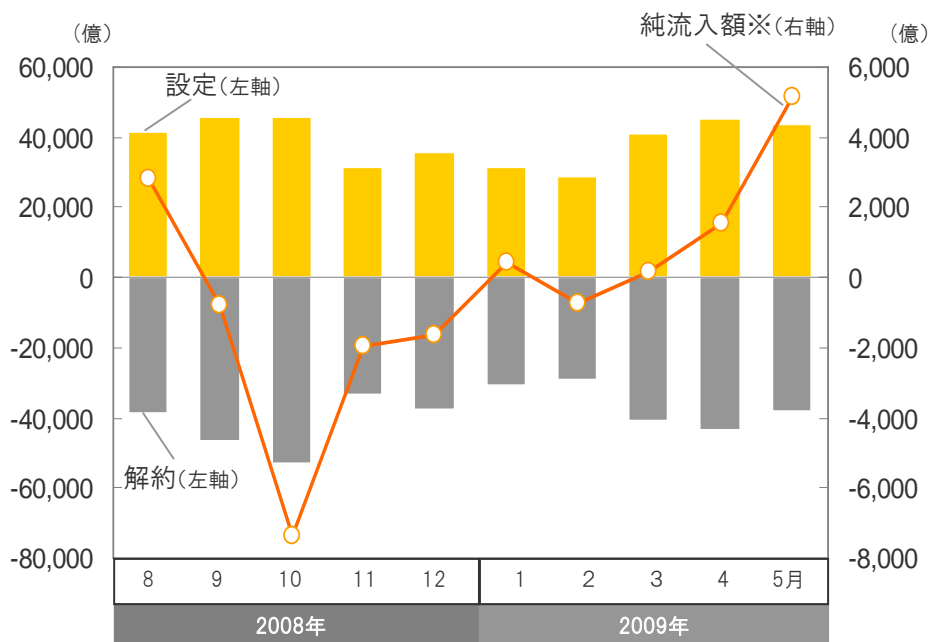


※日興AMコールセンターへの問い合わせ件数全体を100%としています。

また、投資信託協会から、2009年5月は久し振りにファンドの資金流入が高い水準であったことが発表されています。資金流入とは、購入金額が解約金額を上回っている状態で、ファンドに資金が入ってきていることを意味します。グラフ2から、2008年9月の米証券会社の破綻後に解約が増えてからしばらくは購入・解約ともに低迷しましたが、5月に入り純流入額が大きく伸びています。ここからもファンドへのニーズが再び高まりつつあることが窺えます。

グラフ2

公募投資信託の設定・解約状況



出所：社団法人投資信託協会
※償還除く

2. 本格的な景気回復には 「雇用」「消費」への変化が待たれます

最近の株式市場などにも見られる市況の変化。これは世界各国が行なった様々な対策の、効果のあらわれと言えるでしょう。

そもそも今回の大幅な株安、円高が短期間に起こったのは、世界の機関投資家などが、投資していた資金を一斉に引き上げたことが主な要因と言われています。機関投資家などは、金利の低い日本でおカネを借りて資金量を増やし、その多額の資金を元手に世界中に投資を行なっていました。しかし、米サブプライムローンが発端となる問題が注目され、金融危機が巻き起こると投資した資金を一斉に引き揚げ、日本で借りたおカネを返しました。そのために起こったのが、世界的な株安と円高です。



コールセンターからの小さなよみもの

そこで危機を打開すべく各国の政府がとったのが「おカネの流れを良くするための対策」や「金融機関への支援策」、「景気を回復するための対策」です。

例えば中国は“公共事業の拡大”など、景気刺激策に多くの資金が投入されたことなどから、潜在的な成長力が促され、世界の機関投資家などの目が投資に向き始めるきっかけになったと思われます。また資源や食糧など商品価格の上昇によって経済活動が高まることで、資源国などにも期待が拡がりはじめたため、世界の機関投資家などが投資を再開しました。

また先進国でも、景気の改善の兆しや悪化のペースが緩んできていることが経済指標から読み取れるようになったことも、世界の機関投資家などの安全志向からの変化に拍車をかけたのかも知れません。

投資家の動きが変わることで、今まで値下がりし続けた市場に変化の兆しが現れはじめているのは、紛れもない事実です。

しかし手放しに「景気回復」と言っても良いのでしょうか。

ここ最近の動きには、企業の生産活動や新興国向けの輸出に改善の動きが見られるようになりました。しかし、雇用、消費についてはまだまだ不安があります。景気対策により雇用の機会が創り出されていますが、それも万全とは言えません。また日本でも定額給付金制度や省エネ家電のエコポイント制度、エコカー減税などの対策がとられたことは消費を促す材料とはなりますが、本格的に景気を上向かせるには充分ではないかも知れません。雇用と消費は密接な関係がありますので、今後はこれらの動きがひとつのキーポイントになります。

ご不明な点、気になる点などがありましたら、ぜひ日興AMコールセンターまでお問い合わせください。

nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

